

9 富山市ライフライン共通プラットフォーム事業への支援について

本市では、行政や電力、ガス、通信、交通事業者等のライフライン事業者が個々に保有する情報をデータベース上に集約する仕組みを構築することで、市民サービスの向上や災害復旧の迅速化を実現し、誰もが安心して暮らせる質の高い都市づくりを目指しております。

これまでに上下水道管・ガス管の敷設箇所、電柱設置箇所等のインフラ情報や市道における工事情報の収集に取り組み、令和元年11月に市道の工事情報をWebサイト上で一般公開したところであり、本年4月には上記を大幅にリニューアルした「Toyama Smart City Square（富山市情報公開サイト）」を立ち上げ、道路工事情報だけでなく、消防隊や救助隊が出動する火災等の災害発生状況や、河川水位等のIoTセンサーによるリアルタイム情報など、市民の生活に役立つ情報を一元的に発信できる環境を整えたところです。

また市民と行政との協働による社会インフラ管理の一環として、市民から簡便に道路の損傷状況を通報頂くための「道路損傷通報システム」を公開しました。

今後も引き続き、様々なステークホルダーの協力を得ながら、搭載情報や住民への公開情報の更なる充実を図りたいと考えております。

つきましては、**富山市ライフライン共通プラットフォーム事業における道路工事情報・通行制限情報等の電子データの提供**について格段の配慮をお願いします。

主な事項

- ・国道、県道における工事情報や富山県警察に申請される道路の通行制限情報等、富山市内の道路交通情報の電子データの提供

